

2023年12月1日

2023年度「酪総研シンポジウム」開催のご案内

雪印メグミルク株式会社
酪農総合研究所
所長 戸邊 誠司

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当研究所の事業推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、酪農総合研究所では、酪農乳業をめぐる諸問題をテーマに取り上げ、皆様と情報共有を図るとともに、私どもの研究内容及び諸活動を多くの方々に理解を深めて頂き、その普及を図ることを目的に、「酪総研シンポジウム」を開催しております。

本年度は、昨年度と同様「実開催とWEBを併用した開催」と致します。多くの皆様にご活用頂けますよう準備を進めてまいりますので、ご多忙とは存じますが多数の皆様のご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬 具

記

1. テーマ 「今こそ飼料の国産化を！PartⅡ ～飼料自給率向上に向けた課題とは～」

2. 目的 コロナ禍の混乱からの回復は見られるものの、ウクライナ危機による原油や穀物等の供給減少・価格高騰、円安の長期化などによって、飼料等生産資材の海外依存度が高い我が国の酪農家の経営は、引き続き厳しい状況にあります。現下の事態を契機として、あらためて飼料国産化への取組みを強化・推進することで、不確実性が高まる海外情勢からの影響を緩和し、日本酪農の持続可能性を高めていくことが重要です。

こうした状況を踏まえ、2023年度酪総研シンポジウムでは昨年度に続き「今こそ飼料の国産化を！」をテーマに、PartⅡとして拡がりを見せる国産飼料の利活用に係る生産現場での取組み、今後の展望やベースとなる自給粗飼料の確保・流通等にスポットを当て議論を深めたいと考えております。

本シンポジウムが皆様の酪農経営のみならず、今後の地域での取組みや課題解決への一助となれば幸いです。

3. 開催日時 2024年2月1日（木）13：00～16：30 （実開催会場の受付開始12：15）

4. 内 容 講演1 「自給飼料利活用に係る北海道現場事例」
“高品質な自給飼料を確保する”
北海道更別村（株）更別TMRセンター 代表取締役 林中 潤 氏
講演2 「自給飼料利活用に係る都府県現場事例」
① “酪農経営において国産飼料100%へのチャレンジ”
千葉県いすみ市（有）高秀牧場 代表取締役 高橋憲二 氏
② “共創その先へ ～地域丸ごと農場計画～”
岡山県津山市（一社）LAアライアンス 代表理事
（酪農家）永禮淳一 氏

総合討議 座長：雪印種苗（株）トータルサポート室長 松本啓一 氏
ゲストコメンテーター（情報提供）：
酪農学園大学 農食環境学群循環農学類 教授 日向貴久 氏
情報提供
“飼料自給率向上に向けた濃厚飼料自給の重要性と実践事例”
パネリスト：講演者3名

5. 参加費 無料

6. 参加方法 実開催会場とWEB参加のうち、下記の選択肢のいずれかを選んで下さい。

① 実開催会場での参加

「TKP札幌駅(北口)カンファレンスセンター」

*昨年と会場が異なります

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴュオフィス札幌3階

② WEB参加

Zoom 使用を予定

ただし、実開催会場は人数制限がありますので、申込多数の場合WEB参加への変更のお願いをすることがあります。

7. 参加申込 (1) 申込方法（参加には事前申込が必要）

下記（[ここをクリックして下さい](#)）か、QRコードから参加フォームを開き、必要事項を記入し登録して下さい。

[ここをクリックして下さい](#)



後日、参加申込フォームに記載されたメールアドレスに、視聴用 URL 等を連絡致します。

(2) 申込締切

2024年1月19日（金）までにお申込下さい。

8. その他 社会情勢の著しい変化がある場合、開催方法等を変更する可能性があります。その場合、都度メールやホームページ等にて連絡をしますのでご了承願います。ご連絡頂きました個人情報は、本件のみに使用致します。

ご不明な点は、雪印メグミルク(株)酪農総合研究所 野崎まで。

(Mail: nozaki@meg-snow.com TEL: 011-704-2131、FAX: 011-704-2417)

以上